

埼臨技 だより



発行所 公益社団法人 埼玉県臨床検査技師会 〒330-0072 さいたま市浦和区領家7-14-7
TEL 048(824)4077 FAX 048(824)4095 URL:<http://www.sairingi.com/>
携帯URL:<http://www.sairingi.com/keitai/index.html> Twitter : @sairingi

第66回 埼玉県公衆衛生大会 開催 当会推薦の4名、公衆衛生事業功労者として 埼玉県知事表彰を受賞

埼臨技会長 神山 清志

令和4年11月9日(水)に埼玉会館小ホールにて第66回埼玉県公衆衛生大会が開催され、埼玉県知事表彰の授賞式が執り行われた。公衆衛生事業功労者として101名と3団体、並びに国民健康保険関係功績者として45名、国民健康保険関係功労者として3名が知事表彰を受賞した。

当会からは、理事経験者として菊池裕子氏(上尾中央総合病院)、笹野勝年氏(熊谷総合病院)、研究班長経験者として阿保一茂氏(さいたま赤十字病院)、渡邊俊宏氏(上尾中央臨床検査研究所)の4名が受賞した。

授賞式は大野元裕知事の挨拶の後に執り行われ、その後、来賓を代表して埼玉県議会副議長の武内政文氏、埼玉県医師長の金井忠男氏より祝辞が述べられ受賞者代表の謝辞の後、閉会となった。

今回も多くの方が知事表彰を受賞できたことは、会として誇らしいことであり、会員の地道な努力・活動が認められたことは、会長としても大変嬉しいことである。

受賞者の皆様、このたびは誠にありがとうございました!



写真左より阿保一茂氏、渡邊俊宏氏、笹野勝年氏、菊池裕子氏 神山清志会長

受賞者 喜びの一言

この度、第66回埼玉県公衆衛生大会において埼玉県公衆衛生事業功労者賞を受賞させていただき、誠にありがとうございました。ご推薦いただきました埼玉県臨床検査技師会 神山清志会長をはじめ、理事の皆様、会員の皆様、賛助会員の皆様のご尽力に深く感謝申し上げます。

私は、公衆衛生検査研究班や埼玉県医学検査学会の実行委員として、技師会活動のお手伝いをさせていただきました。この活動を通じてたくさんのことを経験し、学ぶことができました。ご指導いただきました方々に、この場をお借りしてお礼申し上げます。微力ながらお役に立てたことで今回このような栄誉ある賞をいただけたものと考えており、今後も努力を重ねていきたいと存じます。この度は誠にありがとうございました。

さいたま赤十字病院
阿保 一茂



医療法人社団愛友会 上尾中央総合病院
菊池 裕子

この度、埼玉県公衆衛生事業功労賞を受賞させていただき、誠にありがとうございました。ご推薦、ご尽力いただきました埼玉県臨床検査技師会の神山清志会長をはじめ、理事の皆様、関係者の皆様に深く感謝申し上げます。また、今回の受賞にあたり在任時の理事会活動を通じてご指導、ご支援いただきました皆様、職場で応援してくれた皆様に、この場をお借りして厚く御礼申し上げます。

コロナ禍で何度も押し寄せる感染拡大の試練の中、診療の最前線での検体採取やPCR検査、ワクチン接種の担い手として臨床検査技師が社会から大きな注目を浴び、またタスク・シフト/シェアでは医療現場からの期待が大きくなっております。臨床検査技師を取り巻く外部環境がスピード感を持って大きく変化している今、地域での連携が必要となり、技師会の活動がますます求められているものと考えます。

この受賞を励みに、引き続き埼玉県臨床検査技師会会員として微力ながら会の発展に貢献できるよう日々努力してまいります。この度は誠にありがとうございました。



社会医療法人 熊谷総合病院
笹野 勝年

この度、第66回埼玉県公衆衛生大会において、埼玉県公衆衛生事業功労者賞を受賞させていただきました。この栄誉ある賞にご推薦くださいました埼玉県臨床検査技師会 神山清志会長をはじめ理事の皆様のご尽力に深く感謝申し上げます。

今回の受賞は、埼臨技理事及び検査室管理運営委員会等の活動をご評価いただいたものと思いますが、不慣れな私が活動するにあたり、ご指導くださった理事の方々や諸先輩方、また快く技師会活動に送り出していただいた職場の皆様のご協力があってこそこの受賞であり、この場をお借りして厚く御礼申し上げます。この賞を励みに、今後とも微力ではございますが、埼玉県臨床検査技師会の一員として尽力する所存です。この度は、誠にありがとうございました。



渡邊 俊宏

A man in a dark suit and tie is holding a large, ornate certificate of appreciation. The certificate is framed with a decorative border and contains the following text in Chinese:

表彰状
波辺俊彦様
お世話になっております。上海日本商工会議所
理事 藤田 孝一
上野 孝子 謹啓
貴会より本会へ
金銭に多大なる
助成を蒙り、大に
助成

(文責：山口純也)



「2022年度 関甲信支部・首都圏支部人材育成研修会」開催

日 程：2022年11月12日(土)

会 場：軽井沢プリンスホテル ウェスト「国際会議場 浅間」

テ ー マ：「躍進する力 ～未来へ繋ぐ～」

講 演：「青年局体験教室」

講 師：一般社団法人長野県臨床検査技師会 青年局 半田 憲誉

本研修会は、会員の倫理の高揚・資質の向上、さらに組織やチームのリーダーシップを担う人材育成を目指し、生涯教育の一環として開催されました。

以下に参加された会員の方々の感想をご紹介します。

株式会社アムル 上尾中央臨床検査研究所
稲葉 拓郎

2022年関甲信支部・首都圏支部人材育成研修会に参加した。研修会は青年局の半田氏より「青年局体験教室」の講演を聴講した。青年局は若手検査技師が技師会に求めるニーズを調査し、そのニーズに対応するべく「コミュニケーション特化型研修会」や「実習型研修会」等の企画を立案しており、施設間の垣根を越えた関係の構築に努めていると知った。私自身も若手の技師であり、横のつながりを増やす機会を重宝しているため、活動内容に感銘を受けた。講演はグループワークで理想の検査室を作成するものであった。人員や測定機器、コスト、稼働率等が決められた中で理想の検査室を作成するのは想像より難しく、グループ内でもコミュニケーションが活発に行われた。作成された検査室は若手のグループほど枠にとらわれない検査室であり、ベテランのグループほど細かなところまで練られた検査室であった。

多くのコミュニケーションがあったからこそ、自分の想像にない意見を聞くことができたため改めてコミュニケーションの大切さについて実感した。この研修会で得たことを、これからの業務にも取り入れ、活かしていきたいと思う。

埼玉医科大学病院
北川 裕太郎

2022年度関甲信支部・首都圏支部人材育成研修会に参加しました。長野県臨床検査技師会青年局局長の半田氏より「青年局体験教室」という内容で講演がありました。

長野県臨床検査技師会では2013年より青年局が発足しており、若手技師の活躍の場や施設間の横のつながりを作る活動を全国でもいち早く取り入れ積極的に活動しています。半田氏のお話では、研修会だけでなくグループワークやレクリエーションなど多種多様な企画を行っており、若手技師の意見交換が活発にできる場を作っているのが分かりました。今回、過去に行った企画の「理想の検査室をつくる」というグループワークを体験しました。まず、参加者8名で1グループとなり、机の上の模造紙に様々なスペックの機器や処理装置、人材のカードがあり、それぞれコストや処理能力、活動力、故障率などが違い、コスト上限以内で理想の検査室を作れるかというものでした。グループ内のメンバーは他県の初対面の方が多く、やはり考え方も境遇も違うため様々な意見が飛び交い、徐々に理想の検査室ができていく様子はワクワクするものがありました。最後には各グループの発表があり、他のグループでは発想や構成も全く違うところが多く、参加者一人一人が持つ経験や理想像の違いを垣間見ることができました。

私は今年度から埼玉県臨床検査技師会青年部委員会の委員長を務めており、今まで様々な研修会や意見交換会を開催しましたが、意見を出し合い、つながりを強めるような企画はできていませんでした。今回のグループワークは非常に参考になり、当会でも取り入れていきたいと思っております。また、今回半田氏をはじめ、多くの他県の青年局の方々との交流も生まれました。今後は、他県とも合同で企画を用意できればと思っております。

研究班研修会報告

テーマ 本邦における性感染症の動向

主催 公衆衛生検査研究班

実施日時：2022年9月20日 18時30分～19時30分

会場：Web開催 点数：専門教科－20点

講師：三浦 俊昭（ロシュ・ダイアグノスティックス株式会社）

参加人数：会員56名 賛助会員1名

出席した研究班班員：吉田翔平 鈴木由美子 富井貴之

研修内容の概要・感想など

本邦における性感染症の動向として、三浦氏により講演が行われた。感染症法の中では性感染症として4類感染症（全ての医師に届け出の義務あり）、5類感染症・全数把握疾患（全ての医師に届け出の義務あり）、5類感染症・定点把握疾患（定点医療機関からの報告）に区分され国内の発生動向が把握されている。全国レベルでの流行状況を把握するのに有効な定点報告による感染症患者数では、性器クラミジア感染症が性感染症の中で最も多く近年増加傾向にある。また、淋菌感染症の横ばい状態が続いている一方で、近年梅毒の増加が顕著であるとのことであった。梅毒の感染経路は性的接触、血液を介しての感染（注射器の共用など）、母子感染などがあり現在はほとんどが性的接触によるものである。年齢別の定点報告数については、20代から30代前半の性行動が活発な若年層での感染者数が圧倒的に多く、この傾向は10年前と比較しても変化はしていないとのことであった。

性感染症の原因となる病原体は一般的な培養検査や抗原検査が困難なことが多く、近年益々進歩している核酸増幅検査の貢献度が高い。実際に核酸増幅検査を実施する我々臨床検査技師は、最新の情報を収集し日々研鑽する必要性を感じた。

新型コロナウイルス感染症流行の影響により他の感染症が激減している昨今、性感染症の動向を知る良い機会となった。本研修会で得た知識を自施設内で水平展開していただき、日々の業務に生かされることになれば幸いである。

（文責：富井貴之）

テーマ 免疫学の基礎 ～ 生体防御機構のはなし ～

主催 血清検査研究班

実施日時：2022年9月21日 18時30分～19時30分

会場：Web開催 点数：基礎教科－20点

講師：渡邊 剛（埼玉医科大学総合医療センター）

参加人数：会員198名

出席した研究班班員：渡邊剛 山本晃司 富田耕平 岡倉勇太 大坂圭司 飯山恵

研修内容の概要・感想など

今回の内容は免疫学の基礎であり、免疫学の歴史にはじまり抗原・抗体・サイトカイン・補体など生体防御機構を網羅した講義であった。講義の冒頭に生体防御機構について全体像の解説があり、細菌やウイルスが体内に侵入してからどのように認識され排除されるかが視覚的に示された。

生体防御機構は、自己と非自己の区別から始まる。非自己に対しては、主に免疫担当細胞による異物（抗原）を排除するシステムが働く。

まず体内に侵入した抗原は、免疫担当細胞の好中球・マクロファージ・樹状細胞により捉えられる。特にマクロファージのToll様受容体は様々な抗原の病原体関連分子パターンを認識し、抗原は細胞内へ取り込まれ処理される。さらに、処理された抗原の情報はT細胞へ伝達され、そ

の情報をもとにT細胞は抗体産生や免疫細胞を活性化するサイトカインを放出する。

サイトカインは様々な刺激によって免疫細胞などから産生されるタンパクであり、それに対応する受容体に結合して細胞内のシグナル伝達を引き起こす物質である。サイトカインには主に白血球から産生されるインターロイキンやウィルスの増殖防止を司るインターフェロンなどがあり、様々な生理活性を有している。なお、体内には約800種のサイトカインが存在すると言われている。

抗体（免疫グロブリン）は5種類のタイプがあり、IgGはオプソニン作用、IgAは中和作用、IgMは補体活性化作用を主にもたらし、生体防御に貢献する。

また、抗体や貪食細胞の生体防御作用を補助する担い手として補体があり、その作用はオプソニン作用、溶菌作用、炎症反応、食細胞の炎症巣動員など多岐にわたる。補体の活性化経路には抗原抗体複合体から活性化する古典経路と、抗原の持つ糖鎖を生体内のマンノース結合レクチンが認識し活性化するレクチン経路がある。

我々は免疫検査において、感染症や自己免疫性疾患などの検査では抗体価を測定することも多い。また、生体内の免疫応答を経て産出される抗体の量や上昇の仕方については個人差も多く、免疫検査には未だ課題が残されている。今回の講義は、免疫疾患の機序や免疫検査の特徴を再確認する良いきっかけとなった。

（文責：飯山恵）

テーマ 輸血の実際を臨床検査技師はどこまで把握できていますか？ 現場のエキスパートに聞こう！

主催 輸血検査研究班

実施日時：2022年9月28日 19時00分～20時00分

会場：Web開催 点数：専門教科－20点

講演：輸血投与開始から副作用管理まで

講師：木村 秀実（医療生協さいたま生活協同組合 埼玉協同病院）

参加人数：会員93名

出席した研究班班員：久保居由紀子 宮澤翔子 小原佑太 比嘉絢子 岸健太 岩崎篤史
廣田渉 川内沙織

研修内容の概要・感想など

今回の研修会は「輸血の実際」をテーマとし、学会認定の臨床輸血看護師、自己血輸血看護師の資格を有し、輸血医療に経験豊富な看護師の木村氏を講師に開催した。

埼玉県内の133施設のアンケート結果や現場の動画も交えて、輸血投与開始から副作用管理までの輸血実施の一連の流れが紹介された。輸血の実施にあたり、血液検査の取り違いの防止と副反応の早期発見・対応は安全な輸血医療のために重要である。現場では、輸血の取り違い防止のため①製剤出庫時②輸血準備時③輸血実施前の3回の確認後、輸血が開始され、副反応の確認は①実施前のバイタルチェックから②開始後5分間の観察③開始後15分後の観察④その後適宜観察がされ、このような多くの確認・観察があり安全な輸血が行われていることが分かった。また、現場でよくあるQ&Aとして、血液製剤や輸血用ルートに関する事など多くのQ&Aも紹介された。その名の通り、ルーチン中に度々質問される内容ばかりであり、明日からの業務にも役立つものであった。

輸血の実施に、臨床検査技師が関わることは少ないため把握できていないことが多い。現場で実際に従事する看護師による今回の講演は、我々参加者にとって輸血療法に関する幅広い知識を習得できる内容であった。

（文責：岸健太）

テーマ **令和4年度一般検査鏡検実習**

主催 一般検査研究班

実施日時：2022年10月9日 9時30分～16時00分

会 場：学校法人明星学園 国際医療専門学校 点数：専門教科－20点

講 師：実習内容：【午前】赤血球・白血球・髄液検査

【午後】上皮細胞・円柱・症例検討

藤村和夫、柿沼智史、渡邊裕樹、小針奈穂美、中川禎己、松本実華、織田喜子、
小関紀之、飯塚桂子

参加人数：会員29名

出席した研究班班員：藤村和夫 柿沼智史 渡邊裕樹 小針奈穂美 中川禎己 松本実華
織田喜子

研修内容の概要・感想など

令和4年度一般検査鏡検実習を国際医療専門学校で開催いたしました。

以下に参加された会員の方々の感想をご紹介します。

さいたま市立病院
我妻 朋代

今回、初めて一般検査鏡検実習に参加させていただきました。実習は6つの班に分かれて行い、赤血球・白血球・上皮細胞・円柱・結晶・髄液・症例検討などの検体を観察しました。

一般研究班の方々に班ごとで指導をしていただき、鏡検をしながら細胞の特徴や観察の注意点などを丁寧に教えていただきました。また、実際に遭遇する機会が少ないファブリー病のマルベリー小体をディスカッション顕微鏡にて見させていただきました。典型的な渦巻き状の形態を示すもの以外にも渦巻きが見えない非典型的なものなど、様々な形態のマルベリー小体を観察することができました。臨床でもマルベリー小体の鏡検依頼があり不安を感じていましたが、今回の経験を活かして検査に役立てていきたいと思います。

現地での実習ということで他の施設の方々とも交流することができ、日常の検査実施状況や工夫点なども教えていただくことができました。またぜひこのような機会があれば参加させていただきたいと思います。ありがとうございました。

医療法人社団富家会 富家病院
藤沢 あすか

私は慢性期をメインにした病院に勤めており、尿沈渣は月に1検体ほどしか検査依頼がありません。今回、知識を深めるため令和4年度一般検査鏡検実習に参加させていただきました。

短い時間の中で、たくさんのスライドから基礎的なものをメインに観察しました。普段は別の検体を同時に見ることができないため、細胞の特徴を比較できる貴重な機会となりました。赤血球は形ではなく中身の入り方で糸球体型かどうかを見るなど、講師の方の経験に基づいた見方は今後の検査に活かせると思います。

検査数が少ないばかりに苦手意識を持っていましたが、苦手だからこそ積極的に関わろうと思える研修会でした。



埼玉医科大学国際医療センター

荻原 安純

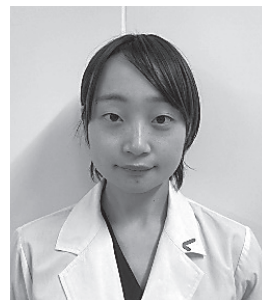
今回、令和4年度一般検査鏡検実習に参加させていただきました。この勉強会に参加したことで、知識に厚みをつけることができました。その理由の1つ目が、マルベリー小体を実際に鏡検できたことです。微動を使い綺麗な渦を確認できたときは感動しました。

2つ目は好酸球です。好酸球は2核を探すと研究班の方に教えていただきました。白血球数だけでなく分画も鏡検できることを知り、沈渣の奥深さも学びました。

3つ目は症例問題です。1番多くのことを学んだ時間でした。上皮内癌、腺癌、核内封入体など、普段見られない症例を鏡検でき、また鏡検結果を考察する面白さも学びました。この貴重な経験を今後のルーチンに活かしていきたいと思いました。

お忙しい中、多様な症例を準備してくださった研究班の方々、誠にありがとうございました。

(文責：藤村和夫)

テーマ **2022年 認定試験直前!! 細胞診セルフチェック 第3弾**

主催 細胞検査研究班

実施日時：2022年10月13日 18時00分～19時30分

会場：Web開催 点数：専門教科－20点

講演 1：リンパ節骨軟部領域

講師：並木 幸子（獨協医科大学埼玉医療センター病理診断科）

講演 2：まとめ（総合問題）

講師：野本 伊織（埼玉県済生会川口総合病院）

参加人数：会員195名

出席した研究班班員：鶴岡慎悟 船津靖亮 急式政志 加藤智美 猪山和美 野本伊織

小川弘美 並木幸子 稲山拓司

研修内容の概要・感想など

第3弾となった本研修会は、リンパ節・骨軟部領域から10問、まとめ（総合問題）として第1弾～第2弾を含めた各領域から60問、計70問を設問形式で細胞像の写真を提示した。

リンパ節・骨軟部領域は、並木氏より解答の説明が行われた。リンパ節領域では、炎症性病変から悪性リンパ腫まで幅広く提示された。骨軟部領域は、施設によっては骨軟部領域の症例を目にする機会が少ないため、基本的な細胞所見の取り方や細胞像の比較ポイント、加えて好発部位や好発年齢を考慮した鑑別ポイントについて詳しい説明があった。

まとめ（総合問題）は、野本氏より解答の説明が行われた。設問は婦人科領域、乳腺・甲状腺・唾液腺領域、呼吸器領域、消化器領域、体腔液・泌尿器領域、リンパ節・骨軟部領域から提示され、第1～3弾で各領域については詳細な解説を行ったため、まとめでは解答の提示に留めた。

総じて、幅広い分野から良性～悪性の典型例、忘れてはならない稀少例と充実した内容であった。細胞検査士試験をこれから受ける臨床検査技師や既に資格を取得している細胞検査士の細胞像の振り返り、セルフチェックとして効果的な研修会であった。

(文責：稲山拓司)

テーマ **移植に関わる人もそうでない人も！
移植医療に対して検査技師ができることは？**

主催 輸血検査研究班

実施日時：2022年10月20日 19時00分～20時00分

会 場：Web開催 点数：専門教科－20点

講 演：移植医療と移植関連検査

講 師：賀古 真一（自治医科大学附属さいたま医療センター）

参加人数：会員61名

出席した研究班班員：久保居由紀子 宮澤翔子 小原佑太 比嘉絢子 岩崎篤史 廣田渉
川内沙織

研修内容の概要・感想など

今回は「移植医療と移植関連検査」をテーマとして、血液科の賀古医師を講師に迎え開催した。講演では造血幹細胞移植の基礎的な内容に加え、臨床での幹細胞の採取や保管、輸注についての詳細な説明があった。自家造血幹細胞移植は、多発性骨髄腫や難治性悪性リンパ腫に対して行われ、大量化学療法に伴う造血の抑制を救援することを目的とし、移植後の血球回復が早くGVHDのリスクがない利点がある。一方で、同種造血幹細胞移植は、造血を救援するとともに新たな免疫系を構築することでドナー細胞による抗腫瘍効果が期待できるが、GVHDのリスクが高いといったデメリットがある。造血幹細胞移植は幹細胞の起源によって骨髄、末梢血幹細胞、臍帯血移植に分類され、それぞれの特性についてもわかりやすい解説であった。そして、昨今のコロナ禍において、骨髄バンクの非血縁ドナーによる骨髄造血幹細胞移植方法の変更が認められているという情報は、普段移植に関与していない技師にとって大変貴重であった。

日々輸血業務を行う技師であっても移植医療には関与していない場合も多い。今回の講演では造血幹細胞移植の基礎的な話から、同種造血幹細胞移植に重要なHLAの話まで幅広い内容を聞くことができ、移植医療と移植関連検査について知識を深めることができた。

（文責：岩崎篤史）



臨地実習指導者講習会 開催のお知らせ

本講習会は、日臨技と日本臨床検査学教育協議会との共同で開催しており、全国の臨地実習施設に本講習会を受講した臨床検査技師（臨地実習指導者）を配置し、充実した臨地実習を受ける体制を整備することを目的としています。

講習会の内容はWeb研修システムを用いた「座学」と「ワークショップ（Webによるグループワーク）」の2部構成となっています。実習生を受け入れているご施設、これから受け入れを検討しているご施設も、講習会受講をご検討ください。未来の臨床検査技師育成に、多くのご施設のご理解・ご協力をお願いいたします。

*詳しくは日臨技HPをご参照ください。

**令和4年度
公益社団法人埼玉県臨床検査技師会
第9回 理事会議事録**

日 時：令和4年11月10日(木) 19時00分より

場 所：埼臨技事務所

さいたま市浦和区領家7-14-7

議 題：Ⅰ. 行動報告 Ⅱ. 報告事項

Ⅲ. 承認事項 Ⅳ. 議題

出 席：現地にて出席

(理事) 神山 松岡 猪浦 濱本 長澤
松寄 松尾 網野 佐瀬 三木
塚原 伊藤(恵) 神嶋 石井
神戸 小林 長谷川

(監事) 遠藤

Zoomにて出席

(理事) 阿部 長岡 久保田

欠 席：(理事) 山口 伊藤(隆)

(監事) 細谷

本日の理事会の出席者は21名であった。理事の出席者は20名で、現在22名の過半数に達しており、定款第33条第1項の決議を行うに必要な要件を満たしていることを確認した。

議長は、定款第32条第1項より、神山清志会長が務めることとなった。

Ⅰ. 行動報告

(令和4年10月13日～令和4年11月9日)

10月13日(木) 令和4年度第8回理事会：

神山、松岡、猪浦、濱本、長澤、
松寄、阿部、松尾、網野、佐瀬、
三木、塚原、伊藤(恵)、神嶋、
伊藤(隆)、神戸、石井、小林、長
岡、久保田、長谷川、遠藤、細谷

10月13日(木) 令和4年度第5回事業部会議：

猪浦、塚原、伊藤(恵)、神嶋、
伊藤(隆)

10月15日(土) 埼臨技臨床検査技師養成校連絡協
議会会議：猪浦、塚原、伊藤(恵)

10月15日(土) 日臨技執行理事会：神山

10月18日(火) 日臨技予算実績WG会議：神山

10月19日(水) 令和4年度第2回ワークライフバ

ランス推進委員会：

塚原、伊藤(恵)、神嶋

10月20日(木) 令和4年度検査と健康展(埼玉)会
場打合せ：塚原

10月20日(木) 第50回埼玉県医学検査学会実行委
員会：三木、佐瀬

10月24日(月) 第51回埼玉県医学検査学会実行委
員会：神山、三木、佐瀬

10月25日(火) 埼玉県精度管理委員会：神山

10月26日(水)～11月1日(火)

令和4年度第2回ホームページ委
員会：山口、阿部、塚原、濱本

10月27日(木) 日臨技予算委員会：神山

10月29日(土) 一都二県臨床化学研修会：神山

10月30日(日) 第16回臨地実習指導者講習会(関
甲信支部)：塚原

11月3日(木) 日臨技執行理事会：神山

11月3日(木) 日臨技第4次マスタープラン検証
委員会：神山

11月9日(水) 第66回埼玉県公衆衛生大会：神山

Ⅱ. 報告事項

1 事務局

1) 10月24日(月) 日臨技より都道府県ニュー
リーダー研修会の開催調査が送付された。
調整の結果、令和5年2月23日(木)に開催
する予定。

2 総務部

1) 10月26日(水)から11月1日(火)の間、第2
回ホームページ委員会(メール会議)を開
催した。(別紙資料1)
2) 11月15日(火) 埼臨技だより522号発行予定。
3) 11月20日(日) タスクシフト指定講習会(埼
玉010) 開催予定。
4) 2月19日のタスクシフト講習会は行わない
予定であったが、1月15日の予約状況をみ
て開催を決定する。

3 事業部

1) 10月13日(木) 事業部会議を開催した。
(別紙参照2)
2) 10月15日(土) 埼臨技臨床検査技師養成校連
絡協議会会議を開催した。(別紙参照3)
3) 10月19日(水) ワークライフバランス推進委
員会会議を開催した。(別紙参照4)

- 4) 10月20日(木)検査と健康展についてコルソ担当者と打合せを行った。(別紙参照5)
- 5) 10月30日(日)第16回臨地実習指導者講習会(関甲信支部)講習会に塚原晃部長が世話人として参加した。(別紙参照6)
- 6) 前回の理事会にて女性技師企画研修委員会の委員会名変更承認をいただいたが、ワークライフバランス推進委員会に訂正。

4 学 術 部

- 1) 11月3日(木)第50回埼玉県医学検査学会の抄録審査結果をまとめた。
- 2) 11月6日(日)生涯教育研修プログラム12月・1月分の行事登録(日臨技システム)を完了した。

5 精度保証部

特になし

6 会 計 部

- 1) 令和4年度正会員費7名35,000円、入会金5名5,000円、再入会金2名2,000円、合計42,000円の入金があった。
- 2) 石井印刷に埼臨技だより第521号印刷代166,320円を支払った。
- 3) NECネットエスアイ(株)へZoomライセンス更新料278,784円を支払った。
- 4) 遺伝子・染色体検査研究班、精度管理について新口座を開設し、りそなビジネスダイレクトの登録を行った。
- 5) 雇用保険料率が10月より3/1000から5/1000と変更になり勤務表を更新した。
- 6) 極東製薬工業株式会社から疑似便の特許権等の譲渡対価として310,432円の入金があった。

7 精度管理委員会

- 1) 埼臨技だより11月号に埼玉県医師会臨床検査精度管理調査速報値の掲載案内を行った。

8 一都八県会長会議

特になし

9 日臨技関甲信支部

特になし

10 日臨技

特になし

11 第50回埼玉県医学検査学会

- 1) 10月20日(木)第13回学会実行委員会を開催した。(別紙資料7)

12 第51回埼玉県医学検査学会

- 1) 10月24日(月)第1回実行委員会を開催した。(別紙資料8)

Ⅲ. 承認事項

1 事務局

- 1) 会員動向(令和4年度分)

令和4年11月1日現在

会員数 3,482名[令和3年度会員数3,329名]
(新入会員 264名)

賛助会員 70社[令和3年度 76社]

承認された。

- 2) 委員会規程の改定について

(別紙資料9)

上記の件について、濱本隆明事務局長から発言があり、審議の結果、承認された。

- 3) 事務員の冬季賞与の支給について

上記の件について、濱本隆明事務局長から発言があり、審議の結果、承認された。

2 総務部

特になし

3 事業部

- 1) 臨地実習指導者講習会参加の奨励について
臨地実習指導者講習会参加の奨励について埼臨技だよりに掲載させていただきたい。

上記の件について、塚原晃事業部長より発言があり、審議の結果、埼臨技だよりへの掲載と未受講施設への受講促進の願いを送付することで承認された。

4 学術部

- 1) 埼臨技会誌の発行について

埼臨技会誌Vol.69 No.2(通巻196号)とNo.3(通巻197号))を合併号としたい。

上記の件について、長岡勇吾学術部長と久保田亮編集委員長より発言があり、審議の結果、承認された。

5 精度保証部

特になし

6 会計部

- 1) 講師料・日当確認書(書式27)の変更について(別紙資料10)

講師料・日当確認書(書式27)に記載例等を付けた書式を作成したので、変更したい。

上記の件について、石井直美会計部長より発言があり、審議の結果、承認された。

7 精度管理委員会

特になし

8 第50回埼玉県医学検査学会

特になし

9 第51回埼玉県医学検査学会

- 1) 別紙資料8の上申事項について承認いただきたい。

上記の件について、三木隆治学会担当理事より発言があり、審議の結果、承認された。

IV. 議題

1 事務局

特になし

2 総務部

特になし

3 事業部

特になし

4 学術部

特になし

5 精度保証部

特になし

6 会計部

特になし

以上で本日の議事を終了し、議長は協力を謝して閉会とした。

あ と が き

2022年も残すところ2週間ほどで終わってしまいますが、いかがお過ごしでしょうか。

京都の華厳寺(通称鈴虫寺)の住職の説法で四字熟語を教えてくださいました。

「**肅**…謹んで行動」「**静**…しずか、自分を見つめるには両手を合わせて合唱」「**慈**…いつくしむ、思いやりを持って」「**陽**…笑いましょう、笑う門には福来る」!

ん? 勘のいい方はお分かりかと思いますが、並び替えると「慈肅陽静(自肅要請)」となります。

こちらの自肅要請は緩和され、学会も現地で開催されるなど、少しずつですが元のかたちに戻りつつあるように感じています。

私生活でも、天気以上にやるのか? やらないのか? 気になって仕方なかった子供の行事が例年通り行われ、参加できる機会が増えてうれしいかぎりでした。

第8波も気になるところですが、来年の「だより」に載る写真からマスク姿がなくなること願っています。2023年が皆様にとって素晴らしい一年になりますように。

(小林 記)

